



2020年度 全日本学生ヨット個人選手権大会
2020年 全日本学生シングルハンドレガッタ

コロナウイルス感染予防対策について

はじめに

選手・支援者の皆様へ

2020年世界を襲ったコロナウイルスは、未だ影響が衰えず、ここ数日は全国的にも感染者が増加傾向にあります。一部選手からは、大学からの出場禁止が指示され辞退者も出ています。

このような状況下にあっても私たちは、セーリング競技を通じ、自分たちはもとより社会に対し明るい情報を提供していくことが求められています。大学生の皆様が、一生懸命取り組む姿は、社会にとって大きな勇気と希望を与えると確信しています。

これらに答えるため、また自分達が楽しむためにも、私たちはしっかりコロナウイルス対策を行い、大会に臨む必要があります。

コロナウイルスに感染しないようにするためには、**マスクの着用**をする、**消毒・石鹸を使った手洗い**をこまめにする、**三密を回避**することが大切です。

大会ではこれら対策を徹底して実施しますのでご協力をお願いします。

コロナウイルス感染予防対策について

選手・支援者の皆様は、以下の事項を守るようにお願いします。

- レース公示、帆走指示書をよく確認し対策通りの実施をお願いします。
- 大会関係者は、各々の立場において、（公財）日本スポーツ協会が発行する「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公財）日本セーリング連盟が発行する「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」の記載事項を遵守する。
- 会場に入る場合は、**体温計測を受ける**こと。このため、朝のハーバーへの入場場所を2カ所に限定する。問題なければ配布した名札に検温済みシールを貼る。ハーバー内で名札は、常に着用する。
- 大会会場では、**マスクの着用**を行うこと。支援者は、**支援艇に乗船時もマスクを着用**する。
- 競技者、支援者は、**新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）の使用**をする。
- 大会会場までの移動は、**感染予防処置を実施する。車両の中でもマスクの着用と空気換気**を徹底する。
- 大会期間前後を含め**懇親会は禁止**する。食事中は、マスクを外すため最も感染の確率が高くなると思います。個別にとる、正面に座っての食事はしないなどする。
- **来場する支援者は最小限**とし、バースエリアでの三密状態を避けるため、**支援者は、バースエリアへの入場を必要最小人数と時間**とする。
- **大声を出しての体操や応援は行わない。**
- 消毒を各所に置いておくため常に使用すること。
- ロッカールーム、シャワールームは、密になるため、出来る限り使用せず**宿舎のものを使用**する。
- シャワールームは、入り口に籠を置いておくので、**籠を持って入場し利用**する。籠が無い場合は、満員のため入場はしない。使用後は、籠を入り口の指定場所に返却のこと。
- 選手の西棟トイレの使用は、**審問出席対象者を除き禁止**とする。選手は、中央棟、東棟、艇庫、バースのトイレを使用すること。
- 審問を待つときは、**出席者のみ**とする。対象者以外は、西棟付近での待機は禁止する。

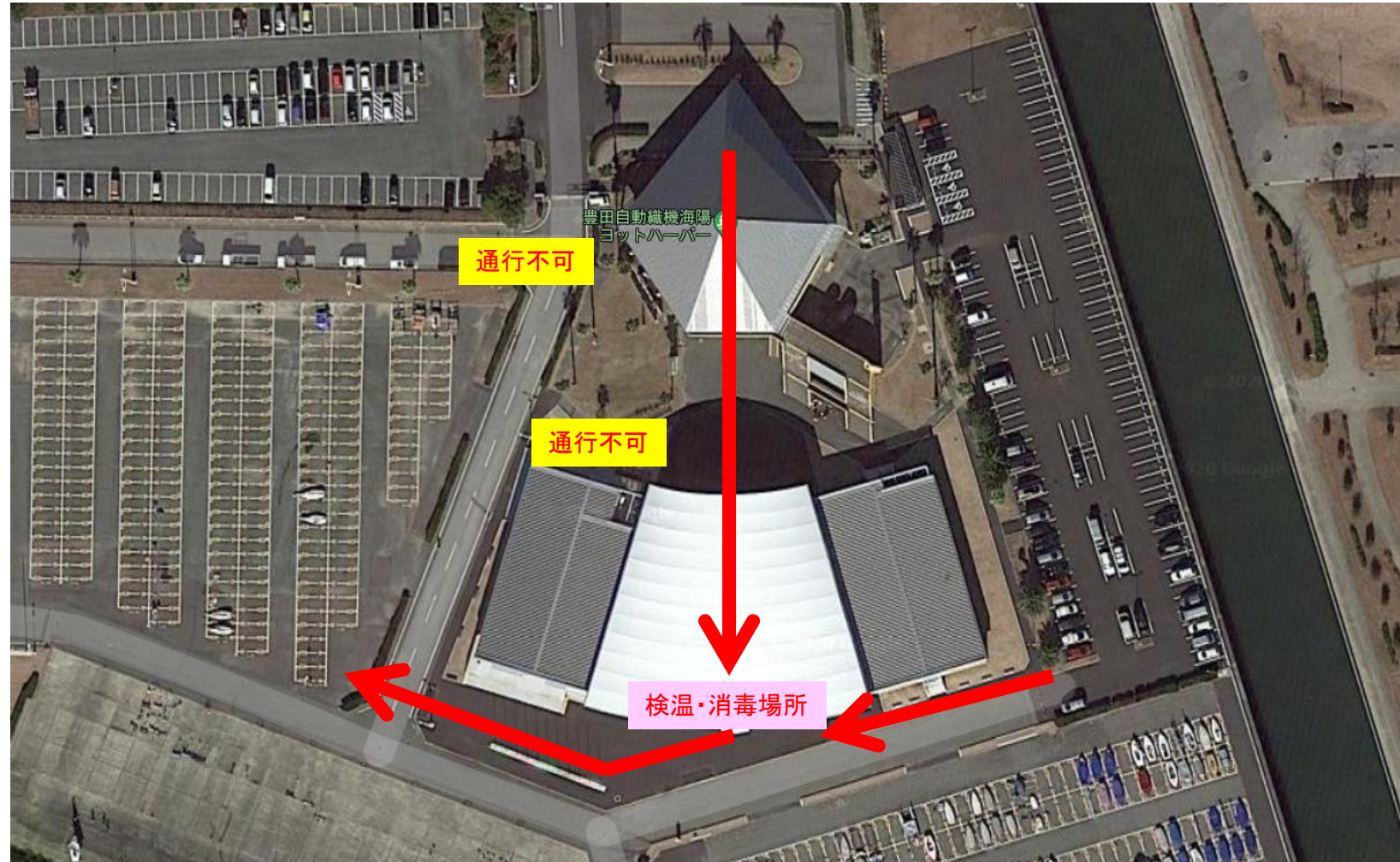
大会までの感染予防について

大会までいよいよ2週間あまりとなってきました。すでに大会は始まっていると思って下さい。選手・支援者の皆様は、以下の事項に注意し大会に臨むようにお願いします。

- ① これから大会期間を含め約 **1カ月間の行動記録と体調管理を行う**。（レース公示指示事項、ペナルティーあり）
- ② 大会までの期間も含め、コロナ対策感染予防対策を徹底する。**新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）を利用する**。
- ③ 会食、懇親会等はできるだけ避けていただく。
- ④ 大会前2週間内で**体調を崩した場合**（発熱など一般的にコロナウイルス感染で指定されている事項）は、**大会に参加しない**。この場合、クルーであれば変更を認めるので大会委員会に申し出て下さい。
- ⑤ 体調を崩した場合は、医師の診断を受けること。コロナウイルス未感染と判断された場合は、参加可能とする。
- ⑥ 大会2週間内で周囲（家族、大学内、バイト先、友人など）で感染者が発生し、**濃厚接触者と判断された場合は、大会に参加しない**。クルーの場合は④と同様の扱いとする。
- ⑦ 大会会場までの移動は、できる限り分散する。
- ⑧ **移動車両の中でもマスクの着用・換気をしっかり行う**。
- ⑨ 宿泊は、できる限りシングルルームとし、準備できない場合、部屋ではマスクを着用する。就寝時は、できるだけ離れる。
- ⑩ 宿舍の部屋に集まっての**ミーティング等は、三密となる可能性が高いため行わない**。
- 11 支援者には、**リモート観戦**をお願いします。会場には、**必要最低限の支援者のみの来場**とする。（必要最低限とは、その場にいないと大会参加に支障をきたす人数を目安とする）今回、トラッキングシステムの採用と映像配信を予定しています。

海陽ヨットハーバー入場ルート

11月27日（金）から29日（日）の間、大会関係者の海陽ヨットハーバーへの入場は、検温の為入場ルート
を限定させていただきます。必ず検温してから入場をお願いします。



入場は、中央棟入り口、東側駐車場ルートのみ。 ← 入場ルート

海陽ヨットハーバー入場手順

- ① 海陽ヨットハーバーの開門は、8時からのため、それまではハーバーが開いていても指示があるまで入場しない。
- ② 混雑を避けるため出来る限り時間をずらし入場する。また、8時以前に入り口の前に並ぶ場合は、前の人との間隔をあけること。
- ③ 開門後は、中央棟と東側駐車場からの指定されたルートから入場する。
- ④ センタープラザ（大屋根下）にて消毒を実施後、検温をセルフにて実施する。
- ⑤ 健康チェックシートの提出チェックを受け、未提出の場合は、その場で健康チェックシートを提出する。
- ⑥ 選手登録されていない人は、オンラインでの健康チェックシートに加え、専用用紙に住所、氏名等の記入を行い提出する。（2日目以降は不要）
- ⑦ 体温が37.5℃を超える場合は、入場するのを控えていただく。
- ⑧ ④から⑥が済んだ方は、最初に入場する日は、名札を渡すので、自分で大学名、氏名をその場で記載してもらう。ハーバー内にいる間は、常に名札を首からかけておく。
- ⑨ ⑧で渡した名札は、2日目以降も同様に使用するため必ず持参すること。①から⑧までを同様に実施し、よろしければ最後に目印のシールを貼ってもらう。

トイレの使用について

海陽ヨットハーバーのトイレは、全部で5か所あります。三密を避けるため西棟のトイレは、大会運営と一般のお客様、審問時の選手用とし、選手、支援者は、これ以外のトイレをなるべく分散して使用するようして下さい。



シャワールームの使用について

シャワールームはできる限り宿舎のものを使用するようにお願いしますが、海陽ヨットハーバーのシャワールームを使用する場合は、以下の方法でお願いします。

- ① 入り口に籠を置いておくため、籠を持ってシャワールームに入ってください。
- ② 籠が無い場合は、定員に達しているため、入場は控えて外に並んで待っていて下さい。並んでいる間も間隔をあけて下さい。
- ③ なるべく短時間の使用とし、**シャワールーム内での会話は控える**ようにお願いします。
- ④ 使用後は、籠を持って出ていただき、元の位置にお戻し下さい。
- ⑤ 着替え中などでもできる限り**マスクの着用**をお願いします。

ブリーフィング・表彰式について

○ブリーフィングについて

ブリーフィングは、センタープラザ（大屋根下）で実施します。**大学単位で1名の出席**とします。

FacebookでのLIVE配信も行いますのでご活用下さい。

三密を避けるため、間隔を2 m以上取ってください。

マスクの着用、手の消毒をお願いします。

○表彰式について

表彰式は、入賞者のみの参加となります。

FacebookでのLIVE配信も行いますのでご活用下さい。

マスクの着用、手の消毒をお願いします。

応援される皆様へ

ここ数日、全国的にコロナウイルス感染者の増加が著しくなっています。選手にとっては、一生に一度の大会です。私たちもしっかり感染予防対策を行いますが、できる限りリスクを低減することが大切と思っています。

今一度、海陽ヨットハーバーや海上に船で来て応援することが選手のためなのか、自宅に居て、配信される映像やトラッキングシステムなどを見ていただき応援することが良いのか考えていただけると助かります。

私たちには、連日「応援に行けるのか」という問い合わせがあります。皆様の気持ちはうれしく、理解はできますが、今年に限っては、無観客としたいと考えています。しかし、どうしても海陽ヨットハーバーの構造や公共施設と言ったところから、入場禁止にできない事情があります。

O B、父兄、学生の皆様におきましては、このような事情を考慮していただければと思っています。是非ともご理解・ご協力をお願いいたします。

リモート応援案内リンク https://www.ayf.jp/chubu_icyf/10546

全日本学生ヨット連盟・中部学生ヨット連盟